



【取組内容】

- **生きた海藻は刈り取らず浜辺に打ち上げられた漂着海藻を原料**にして、食品加工、医療、繊維加工、飼料・肥料等に不可欠な素材「アルギン酸」を抽出。アタカマ砂漠北部の乾燥帯を利用して、**電力も熱源も消費することなく海藻を乾燥・保管することで環境に優しいビジネスモデル**を確立。
- 30年以上にわたり継続的かつ安定的にチリの漁民から海藻を買い取り、**投機的な海藻乱獲を抑制し、チリ漁民の収入安定化**にも寄与。アルギン酸を抽出したあとの**海藻残渣は、良質な土壌改良材として近隣の農家に無償で提供**することで地域貢献。
- **本業の事業活動を通じた社会課題解決を実践**すると同時に、業界における世界トップメーカーに成長し、**環境・社会・経済価値の両立**を実践。

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性：	本業の事業活動を通じてSDGs達成に貢献する傍ら民間企業として競争力を維持している実績は、国際的なロールモデルと言える。
包摂性：	30年間継続的かつ安定的に漁民から海藻を買い取る姿勢を貫き、不安定な生活を余儀なくされてきたチリ漁民の収入安定に貢献。
参画型：	海藻供給国チリに単独で進出して以来、30年間チリ現地での信頼を勝ち取り、漁民・地元住民を巻き込んだ生産活動を実施。
統合性：	環境負荷を軽減してチリの漁民・地元住民の生活基盤安定化に貢献しつつ民間企業として存続し、持続可能な形でSDGsに寄与。
透明性と説明責任：	ウェブ上では英語とスペイン語で発信して世界に向けた説明責任を果たしており、世界のトップメーカーから信頼を獲得している。

